

2026 年 9 月 15 日

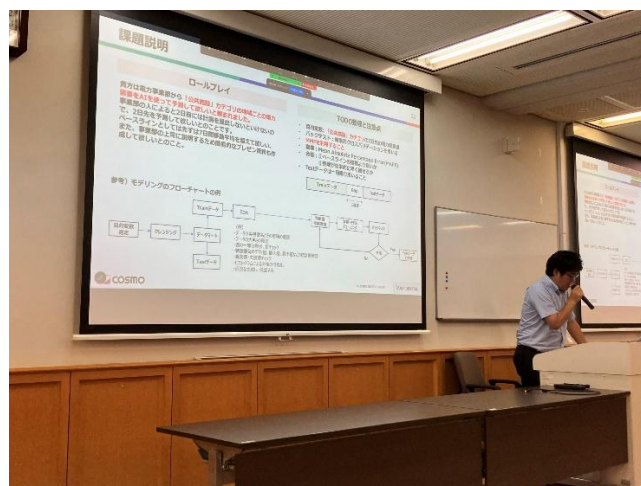
コスモエネルギーホールディングス株式会社

データブリックス

国立大学法人滋賀大学

コスモエネルギーホールディングス、データブリックス、滋賀大学が共同で
大学院生向け実践講座「機械学習と生成 AI によるビジネスデータサイエンス」を実施

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂、以下「コスモエネルギーホールディングス」）、データと AI の企業である Databricks（本社：米国カリフォルニア州サンフランシスコ、以下「データブリックス」）、および国立大学法人滋賀大学（本部：滋賀県彦根市、以下「滋賀大学」）は、データサイエンスおよび生成 AI 分野の高度専門人材育成を目的として、滋賀大学大学院生向け実践講座「機械学習と生成 AI によるビジネスデータサイエンス」（以下「本講座」）を共同で実施しました。



講座の様子

3 者は 2025 年 11 月に、日本の次世代のデータ・AI 人材育成に向けたパートナーシップを締結しています※。本講座はパートナーシップに基づき、滋賀大学の単位認定科目として開講したものです。企業が直面する実際のビジネス課題を題材に、最新のデータ・AI 技術を活用した実践的な学びの機会を提供しました。

<本講座の概要>

- ・ 開講時期：2026 年 7 月～8 月
- ・ 受講者：53 名

滋賀大学大学院データサイエンス研究科の学生 50 名、大学院経済学研究科の学生 3 名

・主なカリキュラム、シラバス

- データブリックスによる、データの探索・可視化・ガバナンス・大規模データ処理・モデル開発と再現性確保、生成 AI アプリケーション開発に関する講義
- コスモエネルギーホールディングスから出されるビジネス課題に関する取り組み

本講座では、データブリックスの Data+AI プラットフォームを活用し、データ・AI アプリケーション、分析基盤、AI エージェントの構築と拡張など、企業におけるデータ活用や AI 活用に必要な技術を体系的かつ実践的に学習しました。受講者は、講義で得た知識を活用しながら、コスモエネルギーホールディングスが提供するデータを用いて分析やモデル開発に取り組み、課題設定から分析、改善提案、成果発表までを一貫して経験しました。

本講座を通じて受講者からは、「実データを用いた分析を通じて、ビジネス課題への理解が深まった」「実務に直結するスキルを身に付けることができた」「研究では経験できない実践的なデータ管理や大規模データ処理について学ぶことができた」といった声が寄せられました。また、同じデータや課題に対して複数の受講者が分析・提案を行い、その成果を比較・議論することで、技術力だけでなくビジネス理解や課題設定の重要性を実感するとともに、自身の成長課題を発見する貴重な機会となりました。

<今後の展望>

本講座は、企業、テクノロジーパートナー、大学が連携して、最新技術と実課題を組み合わせた教育を実現する新たな産学連携のモデルケースとして位置付けられます。企業が保有する実データ・業務課題、最先端の AI 基盤技術と、大学で培われる理論的知識を融合することで、即戦力となるデータ・AI 人材の育成が可能になると期待されます。

今後3者は、本講座で得られた知見をもとに、生成 AI や AI エージェントを活用した実践教育のさらなる高度化を進めるとともに、エネルギー分野をはじめとする様々な産業課題への応用を検討していきます。また、大学教育と企業課題を結び付ける取り組みを継続的に推進し、データ・AI を活用して社会課題を解決できる人材の育成と、産業界における AI 活用の促進に貢献してまいります。

<各者コメント>

○コスモエネルギーホールディングス株式会社 常務執行役員 CDO ルゾンカ 典子

実際のビジネスデータと課題を提供することで、学生の皆さんに企業現場に近い経験をしていただきました。本取り組みを通じて、データと AI を活用して社会課題を解決できる人材の育成に貢献してまいります。

○データブリックス・ジャパン株式会社 代表取締役社長 笹 俊文

本講座では受講者の皆さまに、データブリックスの Data + AI プラットフォームや AI アシスタント「Genie」を活用いただき、コスモエネルギー様の実データを基に、自然言語によ

る需要予測モデルの構築などに取り組んでいただきました。エンタープライズ AI 構築の可能性を実感できる本取り組みを通じて、日本の次世代 AI 人材の育成を支援できたことを嬉しく思います。

○国立大学法人滋賀大学 学長 竹村 彰通

本講座では、企業の実データと最先端の AI 技術を活用した実践的な学習機会を提供しました。受講生が理論と実務を結び付けながら学び、社会でさらに活躍できるデータ・AI 人材として成長することを期待しています。

<各者の概要>

コスモエネルギーグループについて

コスモエネルギーグループは、中東地域での原油開発から国内での石油精製、国内外への石油製品販売までサプライチェーンを一貫して手掛けるとともに、石油化学事業や風力発電事業まで、社会に欠かせないエネルギーを幅広く取り扱っています。最大の使命は、エネルギー調達地域の多様化、災害時の迅速な供給体制の構築など、安全かつ安定的なエネルギー供給の実現を通して社会に貢献することです。また、エネルギーを取り扱う企業として環境と社会に配慮し、持続的発展をめざしています。

データブリックスについて

データブリックスはデータと AI の会社です。アディダス、AT&T、バイエル、Block、Mastercard、リヴィアン、ユニリーバ、Fortune 500 の 70%以上の企業を含め、グローバルで 2 万社超が、データと AI のアプリケーション、アナリティクス、エージェントの構築・拡張に、データブリックスの Data+AI プラットフォームを利用しています。米国カリフォルニア州サンフランシスコに本社を置き、世界で 30 以上のオフィスを構えるデータブリックスは、「Genie」「Lakebase」「Agent Bricks」「Lakeflow」「Lakehouse」「Unity Catalog」などが統合されたプラットフォームを提供しています。詳細は、ウェブサイト（日本語）をご覧ください。<https://www.databricks.com/jp>

滋賀大学について

滋賀大学は、Society 5.0 時代を牽引するデータサイエンス分野で 2017 年に日本で初めて創設された全国的な教育研究拠点の機能を持つデータサイエンス学部、さらに、近江の歴史と文化を背景に豊かな人間性とグローバルな視野を備えた専門性の高い経済領域の教育研究を行う経済学部や未来世代の成長を育む教員養成を行う教育学部を有しています。「湖国から世界へ」と広がる知の拠点として、知の継承、知の開拓、知の還元を担い、ニューノーマルな時代への転換期において社会の持続的な発展に貢献するため、社会・地域・産業界とのネットワークを積極的に構築し、世界を導く新たな価値の創造に取り組むとともに、それ

を担う高い能力を有する人材を育成しています。

※ 2025 年 11 月 28 日プレスリリース「コスモエネルギーホールディングス、データブリックス、滋賀大学がデータ・AI 人材の育成に向けたパートナーシップを締結」

https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2025/251128_01.html

以上